

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和3年3月30日
九州地方整備局
大分河川国道事務所

『大分川・大野川水系流域治水プロジェクト』を公表します！

～近年の気候変動による水害から暮らしを守るため流域治水を推進～

「流域治水」に関する地域での取組を推進するため、河川整備に加え、流域のあらゆる関係者が協働して行う対策も含めた治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」としてとりまとめたものを公表します。

<概要>

近年、全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化しており、流域全体を俯瞰し、国、流域自治体、企業等のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策「流域治水」を推進していくことが必要です。

このため、あらゆる関係機関が参画する流域治水協議会を立ち上げ、関係機関が協働して流域治水プロジェクトの策定に向けて協議を進めて参りました。

本日、大分川・大野川水系において、流域治水プロジェクトを公表します。

本水系における流域治水協議会に関する情報は、以下のページに掲載しております。

【大分川・大野川水系流域治水協議会】

http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/river_info/oita_oono_chisuikyogikai/index.html

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所

技術副所長 猪原 浩二（いはらこうじ）（内線 204）

調査第一課長 小野 富生（おのともお）（内線 351）

電話 097-544-4167（代）

大分河川国道事務所ホームページ：<http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/>

大分河川国道事務所Twitter：https://twitter.com/mlit_oita

大分川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～近年の気候変動による水害から県都大分市と全国有数の観光地を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、大分川水系においても、由布院盆地や大分平野・県都大分市街地に人口・資産が集中しているため、ひとたび災害が発生すると甚大な被害が想定される特性を踏まえ、築堤及び河道掘削などの事前防災対策を進め、以下の取組を実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の昭和28年6月洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。

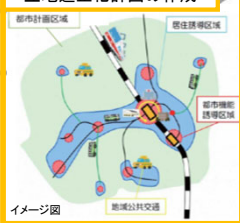
■被害対象を減少させるための対策

- ・災害危険区域の検討
 - ・浄水場や水資源再生センター・公共施設の耐水化等による機能確保
 - ・立地適正化計画の作成・見直し(防災指針の作成等)
 - ・災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

施設の耐水化



立地適正化計画の作成



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、護岸整備、堤防整備、堰改築、橋梁架替 等
 - ・校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討
 - ・住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助継続検討
 - ・ため池の補強・有効活用
 - ・下水道等の排水施設の整備
 - ・下水道事業における雨水流出抑制施設の検討
 - ・利水ダム等4ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:国、大分県、由布市、九州電力(株)など)
 - ・水田の貯留機能向上
 - ・砂防関係施設の整備
 - ・森林整備・治山対策
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

雨水貯留施設設置補助



下水道等の排水施設の整備



自主防災組織(タイムライン作成状況)



防災訓練の様子



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・量水標・水位計・監視カメラの設置
 - ・防災情報伝達の多重化の検討
 - ・小規模河川の氾濫推定図、ハザードマップの作成
 - ・マイ・タイムラインの作成支援
 - ・自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援
 - ・水防災意識を高める防災教育、防災訓練 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

大分川水系流域図



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

大分川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～近年の気候変動による水害から県都大分市と全国有数の観光地を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

● 大分川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 大分市街地等での浸水被害を軽減するため、本川の河道掘削及び排水施設の整備を実施し、また、支川横瀬川の堤防整備を実施するとともに、流域全体での流水の貯留機能の拡大、雨水貯留施設等の対策及び、災害危険区域の検討や立地適正化計画の作成・見直し(防災指針の作成等)、ハザードマップ・各タイムラインの作成・支援等のソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

【中期】 本川中流部の浸水被害を軽減するため、本川中流部の堤防整備・堰改築を実施し、また、支川賀来川の河道掘削を実施するとともに、継続して支川横瀬川の整備、流域全体での雨水貯留施設等の対策及びソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

【中長期】 本川上流部及び支川七瀬川の浸水被害を軽減するため、本川上流部の堤防整備を実施し、支川七瀬川の河道掘削や橋梁架替、堰改築を実施するとともに、継続して流域全体での雨水貯留施設等の対策及びソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

■河川対策 (約111億円)
■砂防対策 (約 44億円)
■下水道対策 (約220億円)

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、 橋梁架替、堰改築 等	大分県、国土交通省	本川下中上流部掘削	本川中流部・支川賀来川掘削	本川中上流部・支川七瀬川掘削	
			本川中上流部堤防整備	本川中流部堤防整備、堰改築	本川上流部堤防整備	
			横瀬川築堤護岸整備、橋梁架替		支川七瀬川橋梁架替、堰改築	
	雨水貯留機能の向上	大分市、竹田市、由布市	住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助継続検討、校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討			
		大分県	水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発			
	下水道対策事業	大分市	下水道等の排水施設の整備			
			管きよ整備			
			下水道事業における雨水流出抑制施設の検討			
	土砂災害対策	大分県	砂防関係施設の整備			
		大分県、大分森林管理署、 大分西部森林管理署、 森林整備センター	森林整備・治山対策			
	流水の貯留機能の拡大	大分市、大分県	ため池の事前放流に関する可能性の検討、普及・啓発			
		大分市、由布市、大分県、国土交通省	利水ダム等4ダムにおける事前放流等の実施、体制構築			
	被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	大分市、竹田市、由布市	災害危険区域の検討		
			大分市、竹田市、由布市、（大分県）	立地適正化計画の作成・見直し（防災指針の作成等）、災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討		
		施設の機能確保	大分市	浄水場や水資源再生センター・公共施設の耐水化等による機能確保		
被害の軽減、早期復旧・復興の ための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分市、大分県、国土交通省	量水標・水位計・監視カメラの設置			
			防災情報伝達の多重化の検討			
	避難体制等の強化	大分市、竹田市、由布市、 大分県、国土交通省	小規模河川の氾濫推定図	ハザードマップの作成		
			マイ・タイムラインの作成支援、自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援			
			水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施			

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

大分川水系流域治水プロジェクト【効果】

～近年の気候変動による水害から県都大分市と全国有数の観光地を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

現在

中長期

大分市街地を中心に
甚大な被害が発生

大在大分港線

国道197号

大分臼杵線

国道210号

国道10号

九州横断自動車道長崎大分線

光吉IC

大分川→

国道210号

国道442号

国道210号

凡例

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 1.0m～2.0m未満の区域
- 2.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域

浸水被害解消

大野川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～日本の産業を支える「九州最大の工業地域」と「歴史的観光地」を水害から暮らしを守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、大野川水系においても、竹田盆地や大分平野・県都大分市街地に人口・資産が集中しているため、ひとたび災害が発生すると甚大な被害が想定される特性を踏まえ、築堤及び河道掘削などの事前防災対策を進め、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、平成5年9月洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の平成29年9月（台風第18号）同規模洪水においても堤防からの越水を回避し、家屋浸水や臨海工業地域の経済活動に対する影響など、流域における浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、護岸整備、堤防整備、堰改築、橋梁架替 等
 - ・校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討
 - ・住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助継続検討
 - ・ため池の補強・有効活用
 - ・下水道等の排水施設の整備
 - ・下水道事業における雨水流出抑制施設の検討
 - ・利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：大分県、土地改良区など）
 - ・水田の貯留機能向上
 - ・砂防関係施設の整備
 - ・森林整備・治山対策
 - ・洪水調節施設等の検討
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・災害危険区域の検討
 - ・浄水場や水資源再生センター・公共施設の耐水化等による機能確保
 - ・立地適正化計画の作成・見直し（防災指針の作成等）
 - ・災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・量水標・水位計・監視カメラの設置
 - ・防災情報伝達の多重化の検討
 - ・小規模河川の氾濫推定図、ハザードマップの作成
 - ・マイ・タイムラインの作成支援
 - ・自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援
 - ・水防災意識を高める防災教育、防災訓練 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

自主防災組織
（タイムライン作成状況）

防災訓練の様子

雨水貯留施設設置補助

下水道等の排水施設の整備

大野川水系流域図

耐震対策

堤防浸透対策

堤防浸透対策

下水道等の排水施設の整備

根固め工
（河床低下対策）

根固め工
（河床低下対策）

河道掘削

築堤、遊水地整備 等

護岸整備、拡幅、橋梁架替 等

樋門改築

大分市

災害危険区域の検討

量水標・水位計・監視カメラの設置
防災教育・防災訓練等の実施

築堤、護岸整備、拡幅 等

築堤、護岸整備、拡幅 等

事前放流

師田ダム

築堤、護岸整備、拡幅、橋梁架替、堰改築 等

事前放流

稲葉ダム

玉来ダム建設

竹田市

災害危険区域の検討

防災教育・防災訓練等の実施

事前放流

大谷ダム

砂防関係施設の整備

森林整備・治山対策

豊後大野市

災害危険区域の検討

防災教育・防災訓練等の実施

築堤、護岸整備、拡幅、橋梁架替 等

小規模河川の氾濫推定図、ハザードマップの作成

事前放流

石場ダム

事前放流

事前放流

野津ダム

凡例

浸水範囲（H5.9洪水、実績）

浸水範囲（H29.9洪水、実績）

大臣管理区間

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

大野川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～日本の産業を支える「九州最大の工業地域」と「歴史的観光地」を水害から暮らしを守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

●大野川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】大分市の堤防の安全性確保のため河床低下・浸透対策、浸水被害を軽減するため支川大谷川・宮谷川の堤防整備を実施し、また、竹田市街地の浸水被害を軽減するためダム建設・濁淵川の堤防整備、豊後大野市等の浸水被害を軽減するため平井川の堤防整備等を実施し、さらに、流域全体での流水の貯留機能の拡大、雨水貯留施設等の対策及び、災害危険区域の検討や立地適正化計画の作成・見直し(防災指針の作成等)、ハザードマップ・各タイムラインの作成・支援等のソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

【中期】大分市の堤防の安全性確保のため河床低下・耐震対策を実施し、また、継続して豊後大野市等の浸水被害を軽減するため平井川の堤防整備を実施するとともに、流域全体での雨水貯留施設等の対策及びソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

【中長期】継続して大分市の河床低下・耐震対策を実施するとともに、流域全体での雨水貯留施設等の対策及びソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

■河川対策 (約215億円)
■砂防対策 (約 86億円)
■下水道対策 (約165億円)

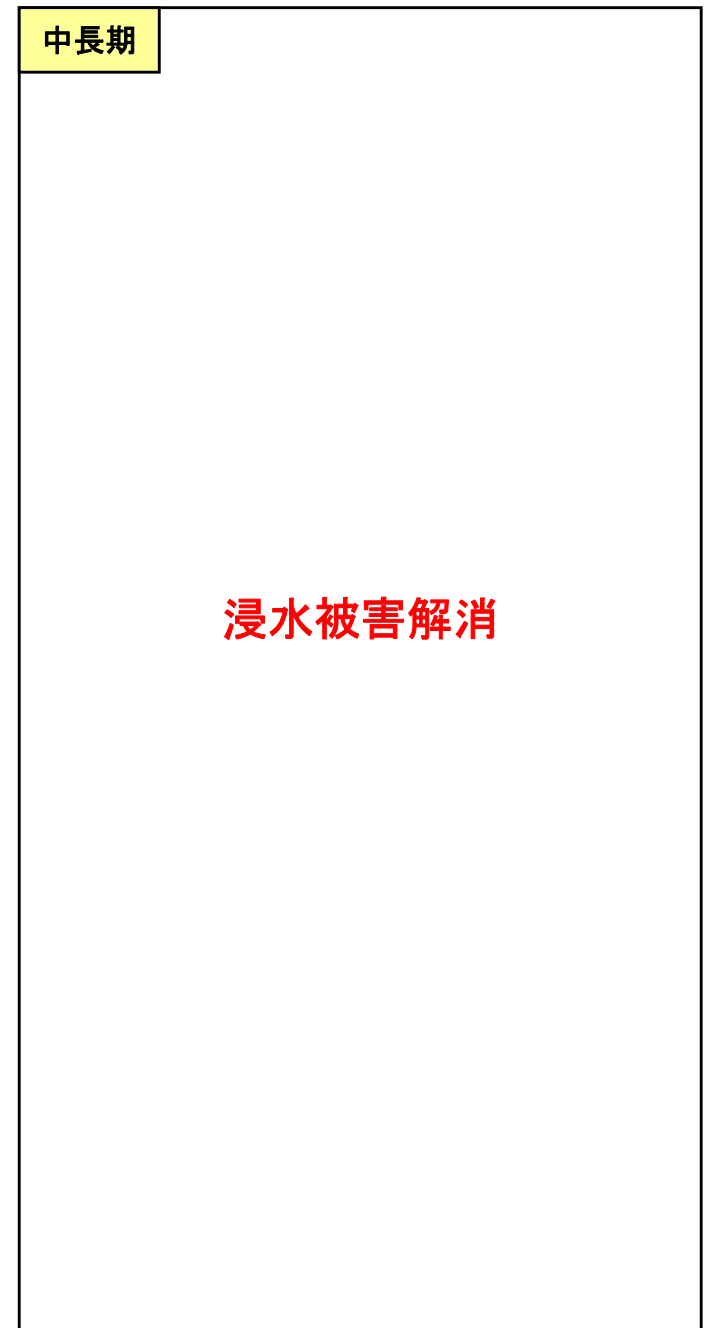
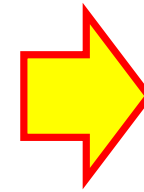
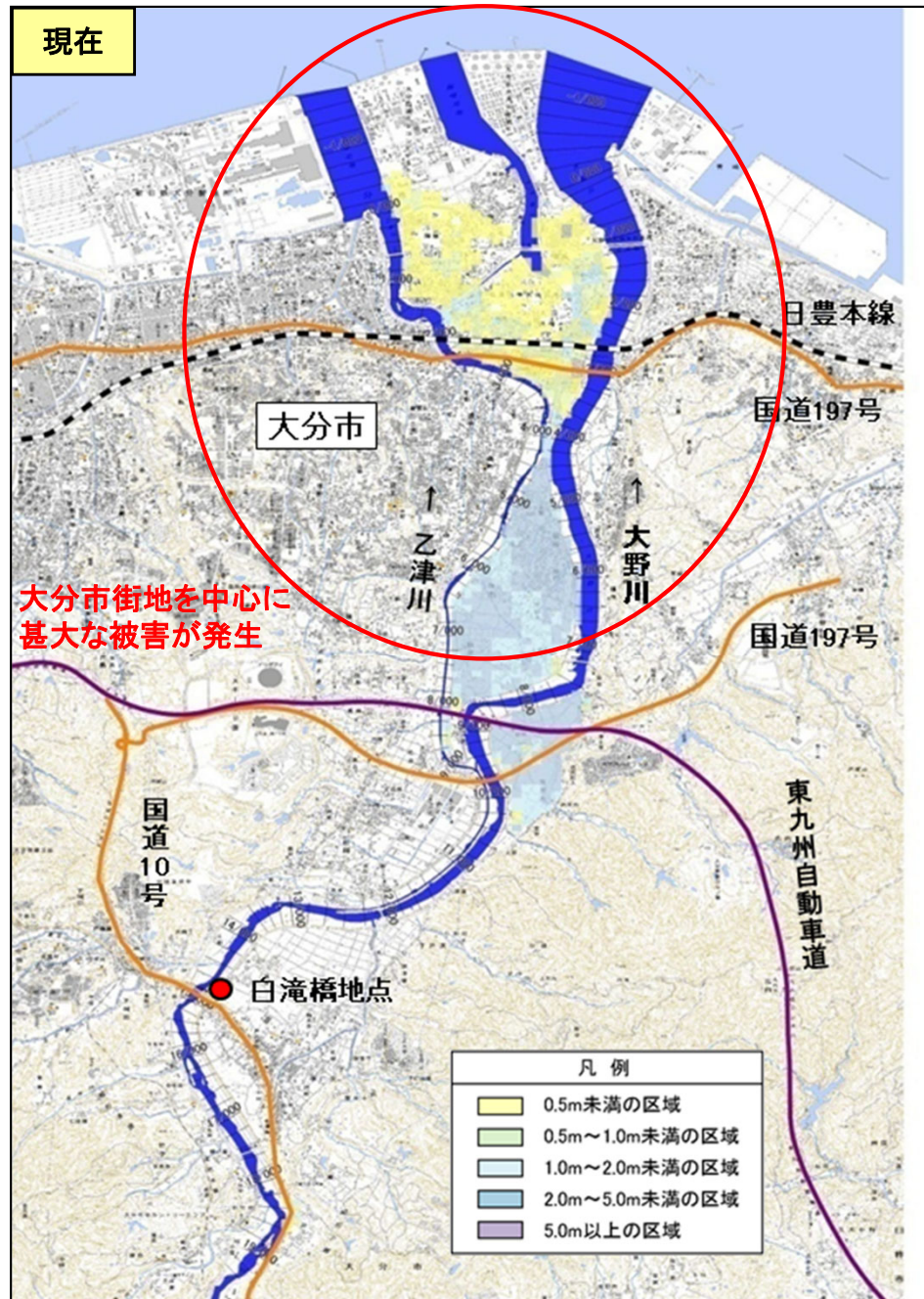
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、 橋梁架替、堰改築 等	大分県、国土交通省	本川中流部掘削・浸透・河床低下対策	本川中流部河床低下対策	
			大谷川、濁淵川、平井川堤防整備	平井川堤防整備	
			玉来ダム建設		
			宮谷川、本川下中流部堤防整備	本川中流部堤防整備	
	地震対策	国土交通省		本川下流部耐震整備	
	雨水貯留機能の向上	大分市、竹田市、 豊後大野市	住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助継続検討、校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討		
		大分県	水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発		
		国土交通省	洪水調節施設等の検討		
	下水道対策事業	大分市	下水道等の排水施設の整備		
			管きょ整備		
			下水道事業における雨水流出抑制施設の検討		
	土砂災害対策	大分県	砂防関係施設の整備		
		大分県、熊本県、 大分森林管理署、 森林整備センター	森林整備・治山対策		
	流水の貯留機能の拡大	大分市	ため池の事前放流に関する可能性の検討、普及・啓発		
		大分市、大分県、 国土交通省	利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築		
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	大分市、竹田市、 豊後大野市	災害危険区域の検討		
		大分市、竹田市、 豊後大野市、（大分県）	立地適正化計画の作成・見直し（防災指針の作成等）、災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討		
	施設の機能確保	大分市	浄水場や水資源再生センター・公共施設の耐水化等による機能確保		
被害の軽減、早期復旧・復興のための 対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分市、大分県、 国土交通省	量水標・水位計・監視カメラの設置		
			防災情報伝達の多重化の検討		
	避難体制等の強化	大分市、竹田市、豊後大野市、 大分県、国土交通省	小規模河川の氾濫推定図	ハザードマップの作成	
			マイ・タイムラインの作成支援、自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援		
			水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

大野川水系流域治水プロジェクト【効果】

～日本の産業を支える「九州最大の工業地域」と「歴史的観光地」を水害から暮らしを守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～



※直轄管理区間において、平成5年9月洪水と同規模の洪水が発生した場合に、氾濫ブロックで被害最大となる1箇所を破堤させた場合の氾濫想定範囲